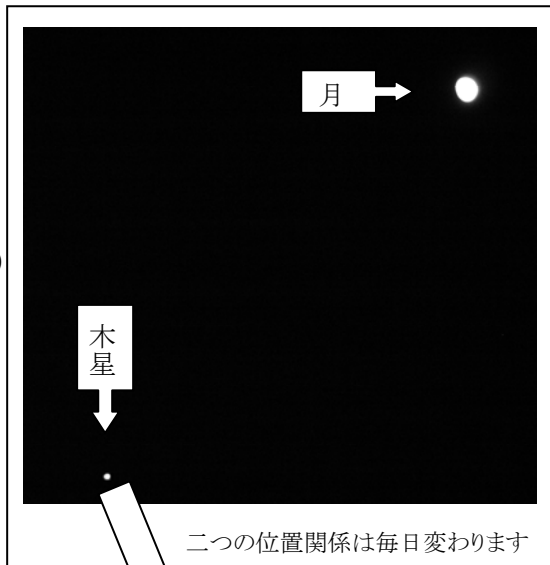


## ～ 月と木星 ～

「お父さん、今日もお月様がきれいだね。」  
 「本当だね。望遠鏡で見てみようか。」  
 「すごーい。お月様ってなんかデコボコして見えるよ。」  
 「そう。そのデコボコは『クレーター』と言って、隕石（いんせき）などが月にぶつかったあとなんだよ。」  
 「ええ～!? ぶつかるの。たいへんだね。」  
 「そう、月の上でバーンとこわれてはじけたあとが、クレーターなんだ。」



「あっ、月のそばに明るい星があるよ。」  
 「よく気がついたね。あれは『木星』だよ。」  
 「ああ、あれが木星なんだ。」  
 「知っているんだ。すごいねえ。」  
 「水金地火木土天海、の木でしょ。」  
 「知っているんだ、すごいね。太陽の周りを回る、地球の仲間だよ。惑星（わくせい）と言うんだ。」  
 「とっても明るいね。」  
 「地球たちの仲間でも、一番大きい星だからだよ。直径で、地球の約 11 倍もあるんだ。」  
 「うわー、大きいんだねえ。」



「望遠鏡で見てごらん。」  
 「あ、なんか、そばに小さな星があるよ。4 個ある。」  
 「よく見つけたね。それは木星の月なんだよ。初めて発見したのがガリレオ・ガリレイなので、ガリレオ衛星（えいせい）とよばれているんだ。」  
 「よっつも月があるの？」  
 「この望遠鏡で見えるのはね。くわしく調べたら 60 個以上見つかったらしいよ。」  
 「へ～、宇宙っておもしろい。もっともっと調べてみたくなっちゃった。」



写真は全て 2010 年 10 月 19 日